



# まちのフケツチ



7/3

## 美味しく出来た和菓子に舌鼓 和菓子作り講座

地元の職人の技を身近に感じてもらおうと、和菓子の作り方を学ぶ講座が能登川コミュニティセンターで行われました。講座には定員いっぱいの16人が参加し、山路町で和菓子店を営む河崎隆さんの指導により、あじさい餅・くずまんじゅう・わらび餅の3品を作りました。

そのうち、鮮やかな紫色が涼しげなあじさい餅作りでは、もち米から作られた道明寺粉に熱湯と食紅を加え、ふやかしてから蒸したものに、砂糖と水あめを入れて弱火で煮ますが、粘り気が強いため参加者らは混ぜる作業に苦戦していました。河崎さんは「和菓子作りには力がある」と、和菓子作りの難しさを伝えていました。交代しながら混ぜ終えた後、



ゆずペーストから作ったゆずあんを包み込んでようやく完成しました。

参加した60代の女性は「力がある作業があり難しかった。3品それぞれ使用した素材が異なり、その多様さに興味を持ちました」と話していました。

7/12

## 透きとおった音色に涼を感じる 葦笛コンサート

五個荘近江商人屋敷3館で開催している夏の企画展の関連イベントとして、県内を中心に活動されている笛吹童爺のメンバー4人による葦笛コンサートが、外村繁邸で行われました。

演奏に使われた葦笛は、近江八幡市の西の湖の葦を使ってメンバーが制作したものです。

約45分間の公演では、「夏の思い出」や「琵琶湖周航の歌」など、懐かしいメロディー12曲を披露され、訪れた10人の来館者は蒸し暑さを忘れ、涼しげな音色に耳を傾けました。

大阪府高槻市から訪れた60代のご夫婦は、「滋賀県の歴史や文化に魅かれ、永源寺や湖東三山などによく来ます。葦笛の音色に、少しの時間ですが涼しい風が流れた気がしました」と話していました。

なお、夏の企画展「伝統の暮らしから今のスタイルへ」は、五個荘近江商人屋敷中江準五郎邸、外村繁邸、



外村宇兵衛邸の3館で8月31日(日)まで開催しています。

6/22

## 火点をめがけて放水 東近江市消防操法大会

東近江市消防操法大会が滋賀県消防学校(神郷町)で開催され、市消防団が日ごろの鍛錬の成果を競い合いました。

この大会は、消防団員の消防技術の向上と迅速・厳正な行動による士気高揚をはかり、消防活動をより充実させることを目的として毎年行っています。指揮者を含め5人で行うポンプ車操法の部に4隊、指揮者を含め4人で行う小型ポンプ操法の部に5隊が出場し、操作の正確さやタイムなどを競いました。

本番では、悪天候の中、「がんばれ」「最後まで集中」などの声援を受けながら、各隊ともに機敏な動きでホースを伸ばし、標的へ放水。日ごろの鍛錬の成果を見事

に披露した団員たちに会場から大きな拍手が送られました。

なお、ポンプ車操法の部優勝および小型ポンプ操法の部優勝、準優勝の3隊は、8月3日(日)に開催される第49回滋賀県消防操法訓練大会に本市の代表として出場されます。

### ◆ポンプ車操法の部

- 優勝：第8方面隊(蒲生)
- 準優勝：第2方面隊(八日市)
- 3位：第6方面隊(湖東)
- 4位：第3方面隊(永源寺)

### ◆小型ポンプ操法の部

- 優勝：第7方面隊(能登川)
- 準優勝：第4方面隊(五個荘)
- 3位：第3方面隊(永源寺)
- 4位：第5方面隊(愛東)
- 5位：第1方面隊(八日市)



▲ポンプ車操法の部優勝の第8方面隊



▲小型ポンプ操法の部優勝の第7方面隊